

栃木放送平成 23 年度第 3 回 6 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 23 年 6 月 14 日（火）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 6 名

欠席委員 3 名

出席委員名	委員長	増田 仲夫
	副委員長	鈴木 正好
	委員	太田 照男
	委員	佐藤 正典
	委員	竹内 明子
	委員	荒川 勉
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗山 正道
	常務取締役	山口 純一
	報道制作本部長	竹澤 一夫
	制作担当	飯田 絵里

4 議 題

(1) 「とちぎのふるさと田園風景百選」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「とちぎのふるさと田園風景百選」について

試聴番組：①平成 23 年 6 月 1 日（水）放送

②平成 23 年 6 月 4 日（土）放送

③平成 23 年 6 月 11 日（土）放送

5 分番組（午後 5 時 5 分～10 分放送）3 回分を試聴

議題説明：制作担当 飯田絵里

はじめに番組の概要について説明。次にこれまでの放送の中から 3 回分を試聴し、審議に入る。

各委員からは、

○バックの音楽が大きい。子供の声や、蛙の鳴き声はよかった。

3 本目に採り上げられている「上高根沢のおだきさん」の中には、語り部の話が入っていたが、「おだきさん」の話は、単なる恋物語

だけだったのだろうか。

○それぞれおもしろかった。1本目の「棚田」の話は、オーナー達の声、2本目の「蛇まつり」の話は、長いことまつりの司会をやっている方の話。そして3本目の「おだきさん」は語り部が良かった。番組最後のホームページ案内は、わかりにくかった。

○百選を認定する時にかかわった。その時論議したことに、“100年続く地”であることという要件があったが、番組でも100年残すために、“どんな活動が行われているか”、また“その手段”等を取りあげてもらいたい。

○「蛇まつり」は、子供のまつりと言っていたが、子供の声をもっと欲しかった。

○目をつぶって聞いてみた。初めての方は風景のイメージがわからない。もう少し、風景描写が欲しい。

○「棚田」が良かった。イメージは具体的なものではなくても、聴く人が想像力をかきたてるような番組なら良い。私は、好印象だった。

○放送時間が、夕方の5時5分というのはどうか。もっといい時間はないのか。

○栃木県出身ではないので、どこまで想像できるかと思っていたが、場所のイメージが湧かない。ただ、棚田には個人的にも興味がある。

○この番組は、まさにラジオの腕のみせどころ。テレビではできない。

○良い音が採れたら、音を前に出したら良い。自然景観のみではなく人文景観もあっていい。

などの意見が交わされた。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

23年度第4回7月期の審議会開催日を決めて閉会した。

以上